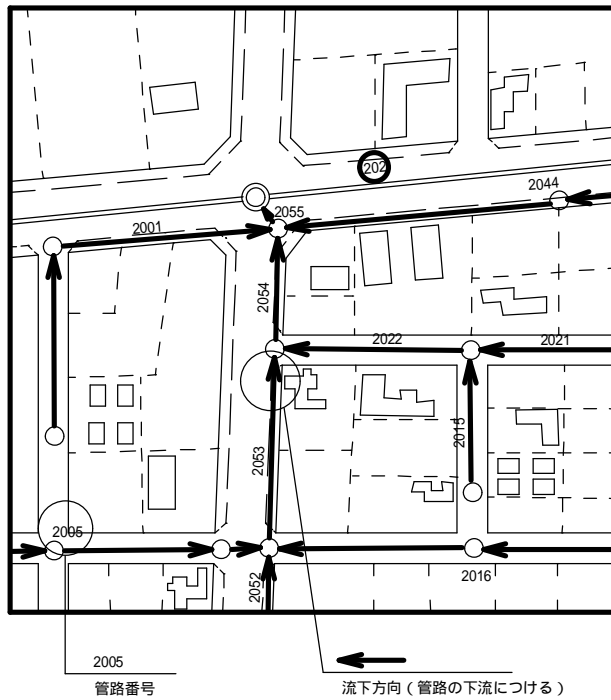


# 大分市公共下水道台帳作成要領

大分市公共下水道台帳作成要領(1)  
(凡例)

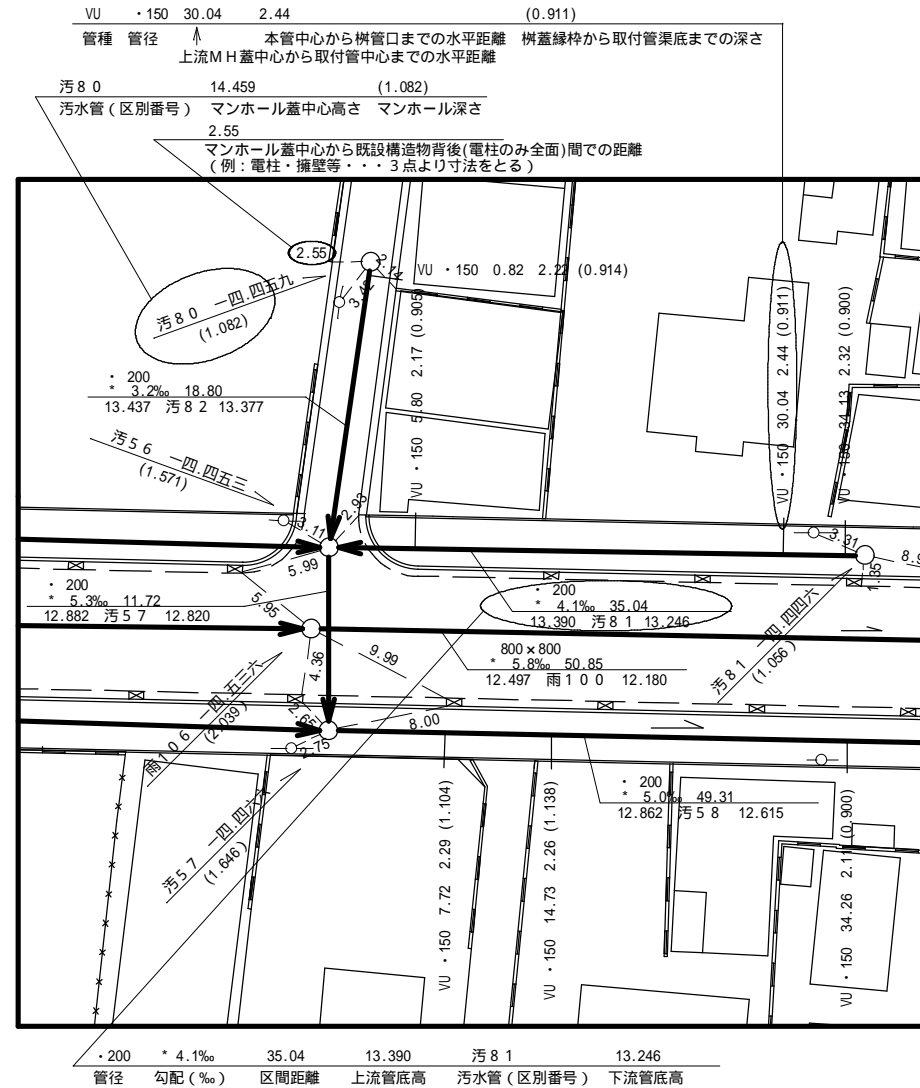
種 別	記 号	適 用	種 別	記 号	適 用
幹 線 管 渠	4	123 (管路番号) [1/2,500位置図に記入]	汚 水 樹 (200)	1.0 3	
枝 線 管 渠	8	1234 (管路番号) [1/2,500位置図に記入]	雨 水 樹 (200)	1.0 3	
取 付 管 渠	3		汚 水 樹 (330)	1.0 3	
第 0 号 マンホール	2.5 3	内 径 75 cm 円 形	汚 水 樹 (500)	1.0 3	
第 1 号 マンホール	2.5 3	内 径 90 cm 円 形	汚 水 樹 (700)	1.0 3	
第 2 号 マンホール	2.5 3	内 径 120 cm 円 形	汚 水 樹 (900)	2.5 3	
第 3 号 マンホール	2.5 3	内 径 150 cm 円 形	雨 水 樹 (350)	1.0 3	
第 4 号 マンホール	2.5 3	内 径 180 cm 円 形	雨 水 樹 (500)	1.0 3	
第 5 号 マンホール	2.5 3	内のり(法)210×120 cm角型	集 水 樹 (L型)	1.0 3	
特 1 号 マンホール	2.5 3	内のり(法)60×90 cm角型	集 水 樹 (U型)	1.0 3	
特 2 号 マンホール	2.5 3	内のり(法)120×120 cm角型	雨 水 吐 き 室	9.5 3.5 3	
特 3 号 マンホール	2.5 3	内のり(法)140×120 cm角型	吐 き 口	6	
特 4 号 マンホール	2.5 3	内のり(法)180×120 cm角型	圧 送 管	3	
小口径マンホール	2.5 3	内 径 30 cm 円 形	地 盤 高	○.○○○ (少数第3位止)	漢 数 字
楕円マンホール	2.5 3	内のり(法)60×90 cm楕円型	管 底 高	○.○○○ (少数第3位止)	
特 殊 マンホール	真 形 表 示	個別にB4判に構造図作成	勾 配	○.○% (少数第1位止)	管 底 高 差 管 渠 長 × 1,000
伏 越 マンホール	4 真形表示 3	個別にB4判に構造図作成	区 間 長	○○.○○ (少数第2位止)	A = 区間長 B = 管渠長
副管付マンホール	3		円 形 管	○ ○○○ (直径)	
振り分けマンホール	3		ボックスカルバート	□○○×○○○ (幅×高さ)	イ ン バ ー ト 付
そ の 他	2.5 3 1.5	点検孔及びボックスマンホール	ボックスカルバート	□○○×○○○ (幅×高さ)	イ ン バ ー ト 無
			三 方 張 水 路	□○○×○○○ (幅×高さ)	
			三 方 張 水 路	▽○○○~○○○×○○○ (上幅~下幅×高さ)	

位置図 (S = 1/2,500)



基準点については、大分市公共下水道事業に伴う基準点台帳により行うものとする。

平面図 (S = 1/500)

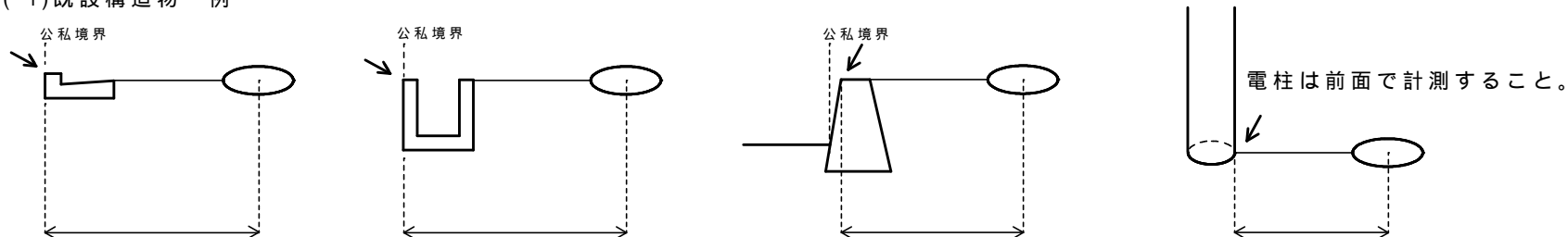


# 台帳作成要領

## マンホール特性

項目	単位	表示桁数	算出桁数	備考
MH蓋中心高	m	小数第3位止め		
三点距離	m	小数第2位止め	小数第3位四捨五入	MH蓋の中心より既設構造物背後までの距離(*1)
上下流管底高	m	小数第3位止め		

(\*1)既設構造物 例



## 管特性

項目	単位	表示桁数	算出桁数	備考
勾配	‰	小数第1位止め	小数第2位四捨五入	(*2)
区間距離	m	小数第2位止め	小数第3位四捨五入	MH中心間水平距離

(\*2)算式 勾配 =  $\frac{\text{上流管底高} - \text{下流管底高}}{\text{区間距離} - 1/2 \text{上流MH内径} - 1/2 \text{下流MH内径}} \times 1000$

(注)塩ビマンホール施工区間についても上式を用いて算出すること

## 公共樹特性

項目	単位	表示桁数	算出桁数	備考
上流MHから	m	小数第2位止め	小数第3位四捨五入	(*3)
本管中心から	m	小数第2位止め	小数第3位四捨五入	(*4)
樹蓋縁枠から	m	小数第3位止め		(*5)

(\*3)上流MH蓋の中心から取付管中心までの水平距離

(\*4)本管中心から樹管口までの水平距離

(\*5)樹蓋縁枠より取付管底までの深さ

